

## 竹細工愛好会から 20周年記念作品の寄贈

6月8日、市竹細工愛好会（藤木敏章会長）から市へ、作品の寄贈がありました。この作品は同会の結成20周年を記念して会員13人が共同制作したものです。竹を切り出すところから始まり、約5カ月間かけて完成した作品を前に、藤木会長は「市民の皆さんに竹工芸の奥深さを感じて欲しい」と話していました。

作品を目にした人は、竹ならではの爽やかさと、直径1.5mの幾何学模様の迫力に見入っていました。



(上) 愛好会の皆さんと市長



(右) 作品は合志庁舎1階ロビーに展示しています

## 九州大会への切符を獲得 全国吟詠コンクール熊本県大会

4月23日、5月14日に熊本市男女共同参加センターはあもにいで開催された平成29年度全国吟詠コンクール熊本県大会で4人が次の成績を取めました。4人は九州大会にも出場し、田尻直樹さんが3位に入賞しました。

- 少年の部 1位 田尻 直樹さん（上須屋）  
少年の部 2位 本木 暖さん（黒石団地）  
青年の部 1位 田尻 真晃さん（上須屋）  
一般二部 1位 宮原由美子さん（上須屋）



吟の練習をする田尻直樹さん

## 株式会社ビタミン・カラーと 包括連携協定を締結

6月20日、株式会社ビタミン・カラー（松崎光紀代表取締役）と市は、包括的な連携のもとに双方の人的・知的資源を積極的に活用し、農業振興、人材育成や産業の活性化のため、地域社会の発展に貢献していくことを目的に包括的連携協定を結びました。

今後、同社の「ほうれん草の周年栽培システム」による農地の有効活用や農家の収益安定、地域人材の就業機会拡大による地域経済の成長が期待されます。



市長と松崎代表取締役（右）

## 地元の農業を自分たちで守ります 農事組合法人上生城設立

6月17日に、上生公民館で農事組合法人上生城の設立総会が行なわれ、上生と城の2地区にまたがる18戸23人が農事組合法人を設立しました。

代表理事には安武俊朗さん（城）が就任し、「当地区の農業を地域で暮らす自分たちで守り発展させ、自然や伝統文化も大切にしていきたい」と決意を語りました。今後、同法人は農地の集積を積極的に進め、米や麦、大豆を中心とした経営を行なっていきます。



農事組合法人上生城の皆さん

## 市民の皆さんへの啓発に活用します 明るい選挙啓発作品募集

▼応募・問い合わせ先 市選挙管理委員会事務局（台志庁舎総務課内）  
☎（248）1112

●対象 小・中学生と高校生に、明るい選挙に関するポスターなどの作成を通して選挙に関心を持ってもらうとともに、今後の明るい選挙を推し進めるために本コンクールを実施します。

### ポスターの部

●対象 小・中学生、高校生

●テーマ 明るい選挙

●用紙サイズなど

●画用紙の四ツ切（542mm×382mm）

●八ツ切（382mm×271mm）

●描画材料は自由（紙や布など絵の具材料だけに限りません）

※裏面に住所、氏名、学校名、学年を記入

### 習字の部

●対象 小学3年生から中学3年生

●テーマ

小3 「大切」 中1 「投票参加」

小4 「主役」 中2 「明るい選挙」

小5 「公約」 中3 「十八歳選挙」

小6 「一票の力」

●用紙 和半紙（33cm×24cm）

※和半紙左に学校名、学年、氏名を記入

●応募方法 市選挙管理委員会に提出してください。市内の公立小・中学生は学校を通じてご応募ください。

●応募締切 9月4日（月）

●審査・表彰

1次審査（市）、2次審査（県）を行ない、12月頃に発表、1月頃に表彰を行なう予定です。

### 注意事項

入賞作品の著作権は、財団法人明るい選挙推進協会、県または市の選挙管理委員会に属し、自由に利用されません。また、作品の表示の際は、作者の氏名・学校名・学年などが表示されます。



平成28年度  
特別賞受賞作品



## 素敵な人生



男女共同参画推進懇話会  
むらかみみちよ  
委員 村上 亨予

## 素敵なパートナー

活動や地域農業振興への貢献などです。

年に一度、先進地視察研修の機会がありますが、起業をして生き生きと仕事をしている女性のそばには素敵なパートナーがいるようです。家族の理解はもちろんのこと、配偶者の協力、理解が一番心強いものだと思います。

我が家の4歳の孫がこんな言葉を教えてくれました。「私たちは、見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます」きっと保育園で習った言葉だと思いますが、私の心には男女共同参画に通じるものだと感じられました。

娘夫婦が5年前から私たちの酪農経営に加わり頑張っています。動物相手の仕事なので、毎日がなかなか計画通りにはいきませんが、そんなときこそお互いを理解し尊重し、助け合いながら生活をしたいと思っています。

皆さんの家にも配布されていると思いますが、市男女共同参画推進行動計画の概要版「パートナーシッププラン・こうし」をご覧ください。これは、本市に暮らす市民が豊かで健康な人生を築くために策定された計画とされています。

皆さんの家庭・地域・職場では、男女共同参画の意識が十分に行き渡っていますか。

私は、農業女性アドバイザーから男女共同参画推進懇話会委員になりました。アドバイザーの活動は、農村女性の経営参画や社会参画の推進、家族経営協定、農業経営改善計画における共同申請の推進、その他に若手農業者への相談